

令和 6 年

# 水難事故のあらまし

～令和 5 年中の水難事故と救助活動状況～



岐 阜 県 警 察 本 部

# 目 次

第 1	水難事故の発生状況	
1	概況 -----	1
2	過去 10 年間の発生状況 -----	2
3	月別発生状況 -----	3
4	場所別発生状況 -----	4
5	態様別発生状況 -----	5
6	曜日別発生状況 -----	6
7	原因別発生状況 -----	6
8	年齢別発生状況 -----	7
9	子供（中学生以下）の水難事故発生状況 -----	8
10	高齢者（65 歳以上）の水難事故発生状況 -----	9
11	居住地別事故者 -----	10
第 2	水難救助活動の状況	
1	出動状況 -----	10
2	水難救助訓練実施状況 -----	10
3	救助事例 -----	11
4	小型船舶操縦士の養成 -----	12
第 3	その他	
1	水上バイク等の事故防止対策 -----	12
2	広報活動 -----	12

## 表 紙

写真：ライフジャケット着用と水難防止広報活動

# 第1 水難事故の発生状況

## 1 概況

[令和5年中の岐阜県内における水難事故の発生状況]

発生件数57件（前年比+7件）、事故者66人（前年比±0人）

[事故者の内訳]

- 死亡 28人（前年比 +8人）
- 行方不明 0人（前年比 ±0人）
- 負傷 10人（前年比 +6人）
- 無事救助 28人（前年比 -14人）

[主な特徴]

- 前年に比べ発生件数が増加、事故者数は横ばい。
- 月別では8月の事故者が33.3%（22人）
- 場所別では河川の事故者が86.4%（57人）
- 態様別では魚釣り・魚取り中の事故者が27.3%（18人）
- 年齢別では高齢者（65歳以上）の事故者が39.4%（26人）

[水難事故の発生状況(前年比)]

区分 年別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
令和5年	57	66	28	0	5	5	28
令和4年	50	66	20	0	1	3	42
増減	+7	±0	+8	±0	+4	+2	-14



多くの利用者が訪れる河川



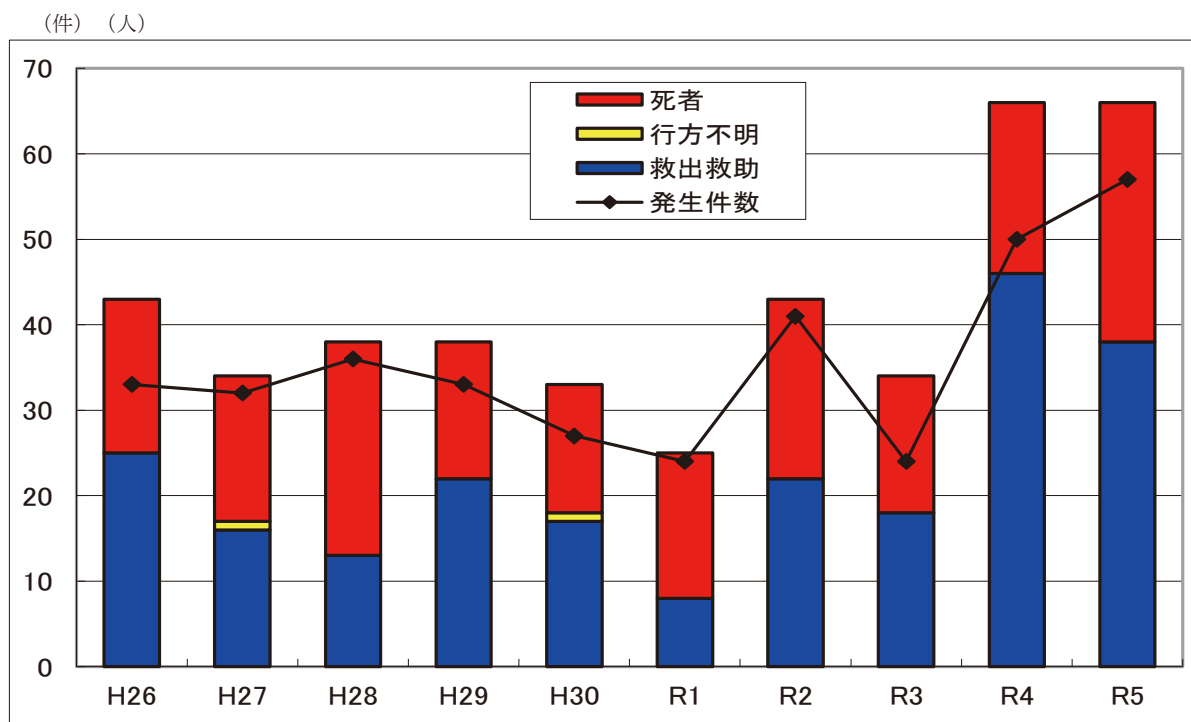
水流が複雑な河川

## 2 過去10年間の発生状況

発生件数・死者数ともに、過去10年間で最多となった。

[過去10年間の発生状況]

区分 年 別	発生件数 (件)	事 故 者 (人)			
		死亡	行方不明	救助	
平成26年	33	43	18		25
平成27年	32	34	17	1	16
平成28年	36	38	25		13
平成29年	33	38	16		22
平成30年	27	33	15	1	17
令和元年	24	25	17		8
令和2年	41	43	21		22
令和3年	24	34	16		18
令和4年	50	66	20		46
令和5年	57	66	28		38



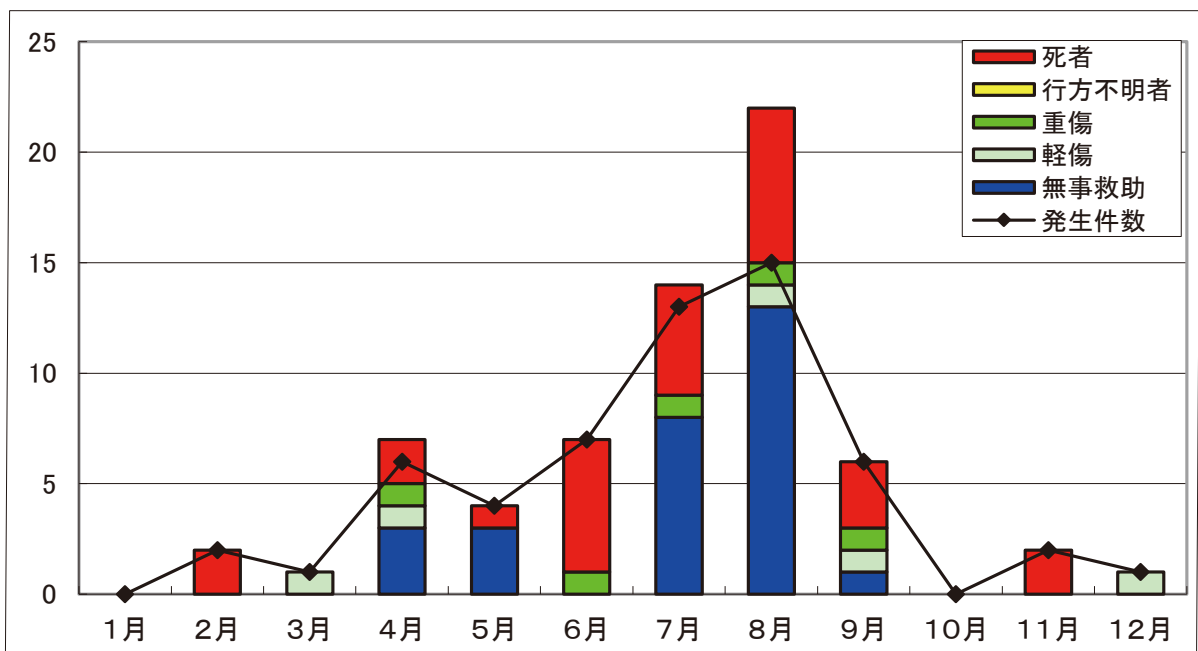
### 3 月別発生状況

- 8月の発生が最も多く、発生件数は15件（前年比-2件）で全体の26.3%を占めている。
- 事故者は22人（前年比-9人）で、内訳は、死亡7人（前年比+2人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助15人（前年比-11人）であった。

[月別発生状況]

区分 月別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
1月							
2月	2	2	2				
3月	1	1				1	
4月	6	7	2		1	1	3
5月	4	4	1				3
6月	7	7	6		1		
7月	13	14	5		1		8
8月	15	22	7		1	1	13
9月	6	6	3		1	1	1
10月							
11月	2	2	2				
12月	1	1				1	
合計	57	66	28		5	5	28

(件) (人)



## 4 場所別発生状況

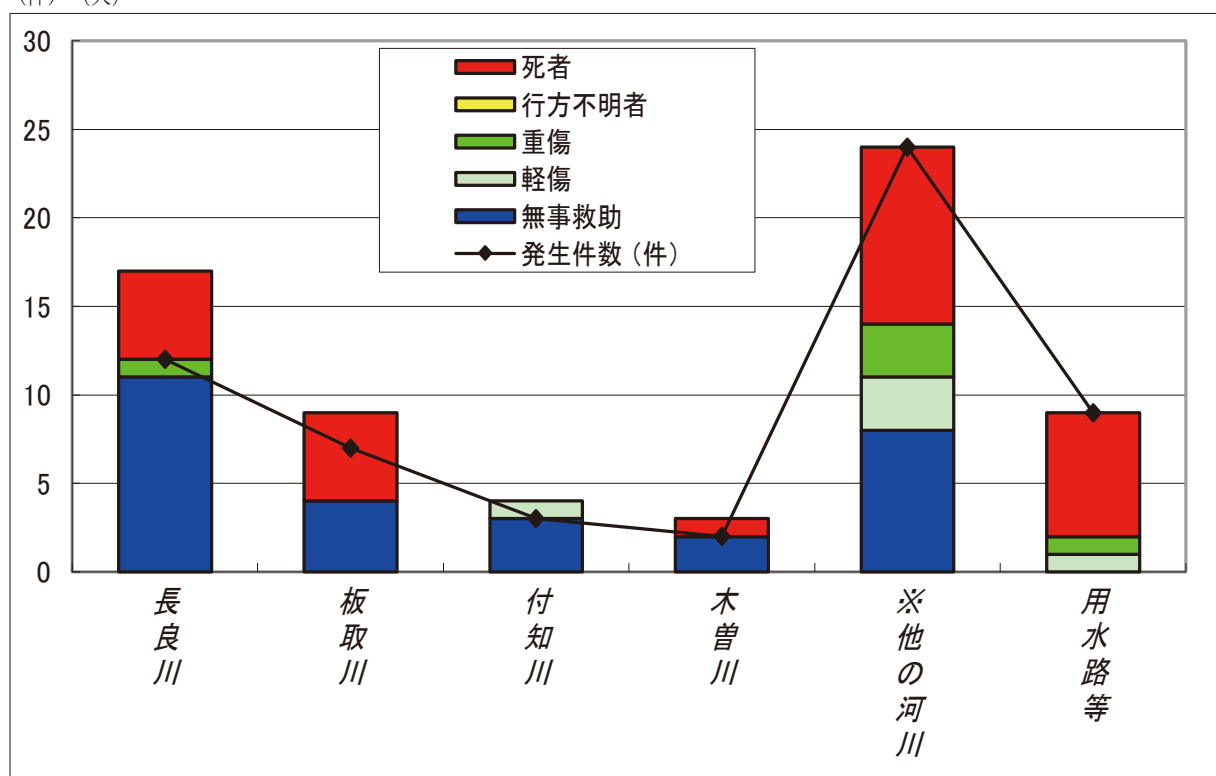
- 河川の事故の発生件数は48件（前年比+5件）で全体の84.2%を占めている。
- 河川の事故者は57人（前年比-2人）で、内訳は、死亡21人（前年比+8）、行方不明0人（前年比±0人）、救助36人（前年比-10人）であった。
- 河川別では長良川の事故が最も多く、発生件数は12件で（前年比-5件）全体の21.1%を占めている。
- 長良川における事故者は17人（前年比-8人）で、内訳は死亡5人（前年比-1人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助12人（前年比-7人）であった。

[場所別発生状況]

区分 場所別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
河川	48	57	21		4	4	28
長良川	12	17	5		1		11
板取川	7	9	5				4
付知川	3	4				1	3
木曾川	2	3	1				2
※他の河川	24	24	10		3	3	8
用水路等	9	9	7		1	1	
合計	57	66	28		5	5	28

※ 他の河川（宮川、糸貫川、山田川、生原川、川上川、大江川、羽根谷、苔川、中川、明智川、馬瀬川等）

(件) (人)



## 5 態様別発生状況

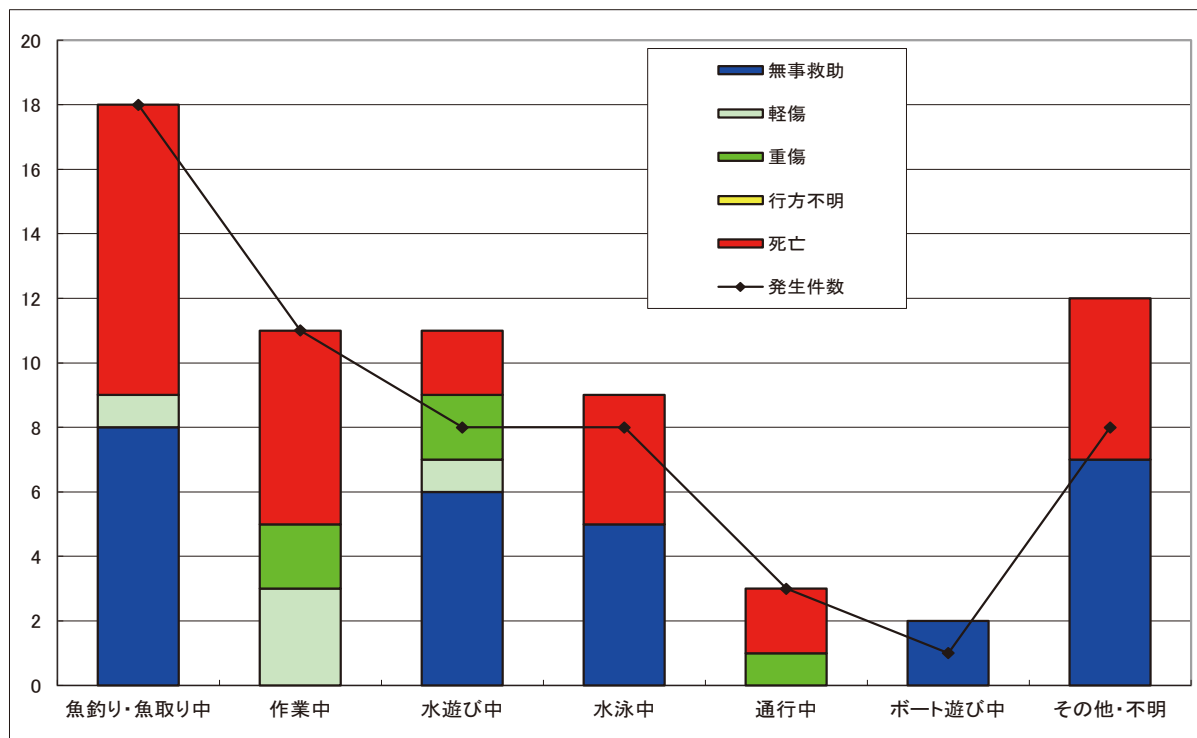
- 魚釣り・魚取り中の事故が最も多く、発生件数は18件（前年比+4件）で全体の31.6%を占めている。
- 事故者数は18人（前年比+4人）で全体の27.3%を占めている。

[態様別発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
魚釣り・魚取り中	18	18	9			1	8
作業中	11	11	6		2	3	
水遊び中	8	11	2		2	1	6
水泳中	8	9	4				5
通行中	3	3	2		1		
ボート遊び中	1	2					2
その他・不明	8	12	5				7
合計	57	66	28		5	5	28

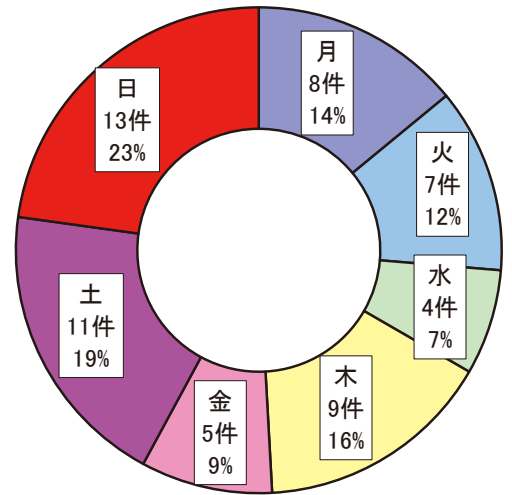
態様別：その他（水難救助活動中、キャンプ中等）

(件) (人)



## 6 曜日別発生状況

日曜日の発生が最も多く、発生件数は13件（前年比±0件）で全体の22.8%を占めている。



## 7 原因別発生状況

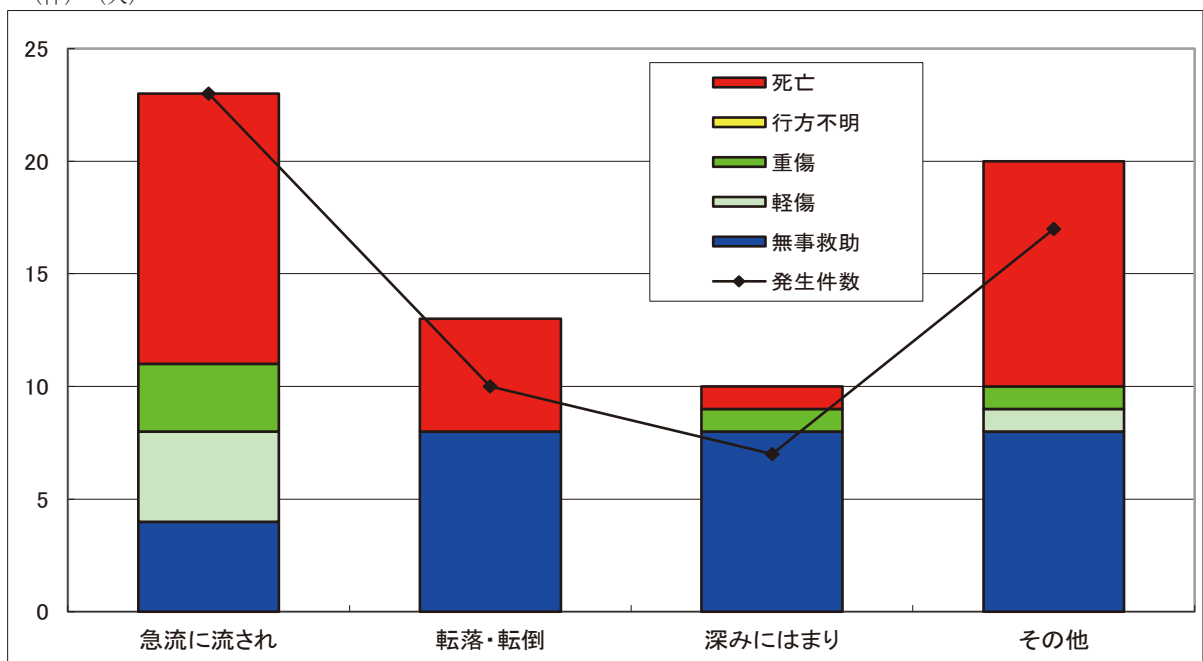
- 転落・転倒による事故が最も多く、発生件数は23件（前年比+6件）で全体の40.4%を占めている。
- 事故者は23人（前年比+6人）で、内訳は、死亡12人（前年比+4人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助11人（前年比-2人）であった。

[原因別発生状況]

区分 原因別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
転落・転倒	23	23	12		3	4	4
急流に流され	10	13	5				8
深みにはまり	7	10	1		1		8
その他・不明	17	20	10		1	1	8
合計	57	66	28		5	5	28

原因別：その他（増水、飛び込み、病死等）

(件) (人)





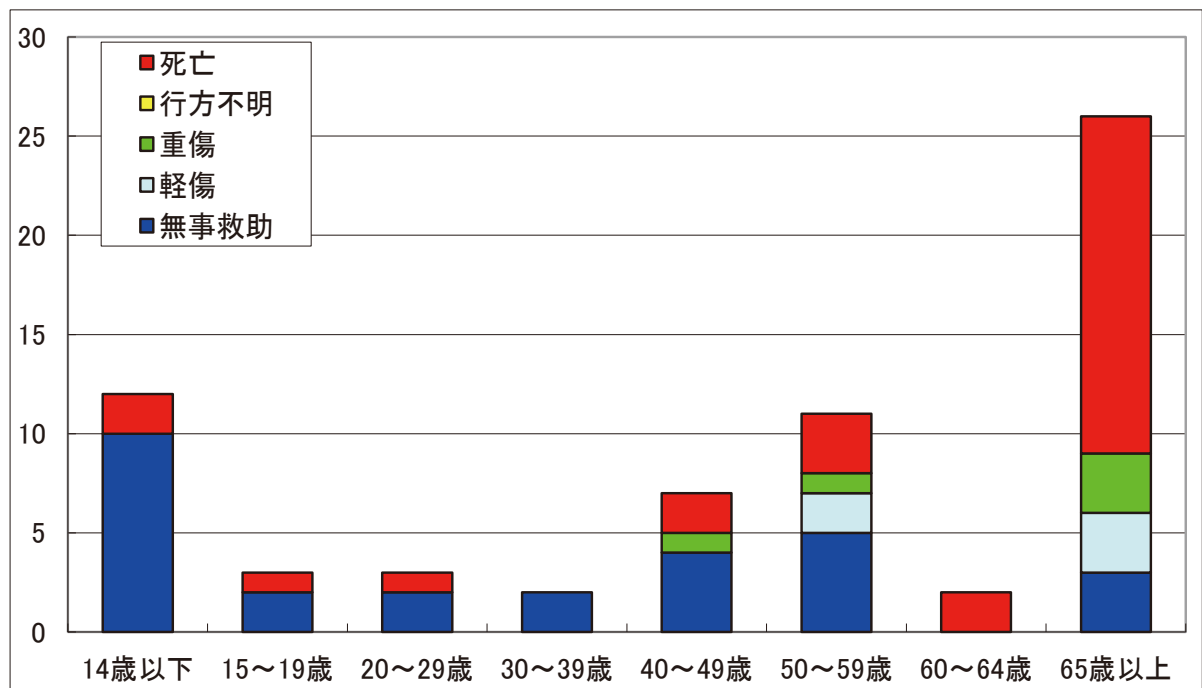
## 8 年齢別発生状況

- 65歳以上の事故者が最も多く、26人（前年比+4人）で全体の39.4%を占めている。
- 14歳以下が12人（前年比+4人）で全体の18.2%、40～49歳が7人（前年比+4人）で全体の10.6%、50～59歳が11人（前年比+9人）で全体の16.7%であった。

[年齢別発生状況]

区分 年齢別	事故者（人）					
		死亡	行方不明	救助		
				重傷	軽傷	無事救助
14歳以下	12	2				10
15～19歳	3	1				2
20～29歳	3	1				2
30～39歳	2					2
40～49歳	7	2		1		4
50～59歳	11	3		1	2	5
60～64歳	2	2				
65歳以上	26	17		3	3	3
合計	66	28		5	5	28

(人)



## 9 子供（中学生以下）の水難事故発生状況

- 子供（中学生以下）の事故の発生件数は10件（前年比+4件）、事故者は12人（前年比+4人）で、発生件数、事故者ともに増加した。
- 事故者の内訳は、死亡2人（前年比+2人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助10人（前年比+2人）であった。
- 発生件数、事故者数は過去10年間で最多であった。

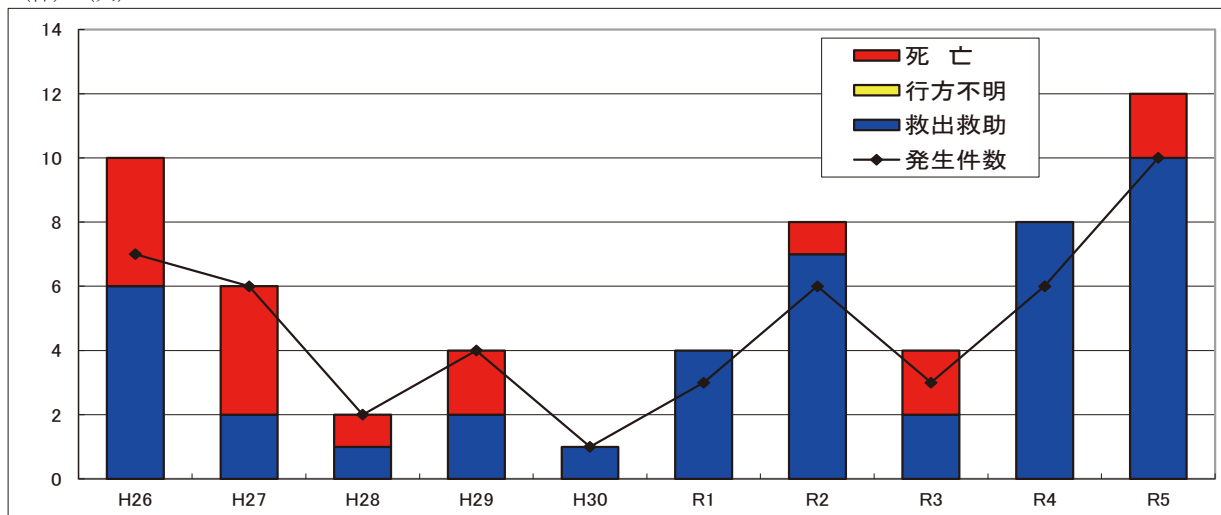
[子供（中学生以下）の態様別水難事故発生状況]

態様別	区分	発生件数 (件)	事故者 (人)		
			死亡	行方不明	救助
水遊び中		4	6		6
水泳中		3	3	2	1
魚釣り・魚取中					
ボート遊び		1	1		1
その他		2	2		2
合計		10	12	2	10

[過去10年間における子供（中学生以下）の水難事故発生状況]

年別	区分	発生件数 (件)	事故者 (人)		
			死亡	行方不明	救助
平成26年		7	10	4	6
平成27年		6	6	4	2
平成28年		2	2	1	1
平成29年		4	4	2	2
平成30年		1	1		1
令和元年		3	4		4
令和2年		6	8	1	7
令和3年		3	4	2	2
令和4年		6	8		8
令和5年		10	12	2	10

(件) (人)



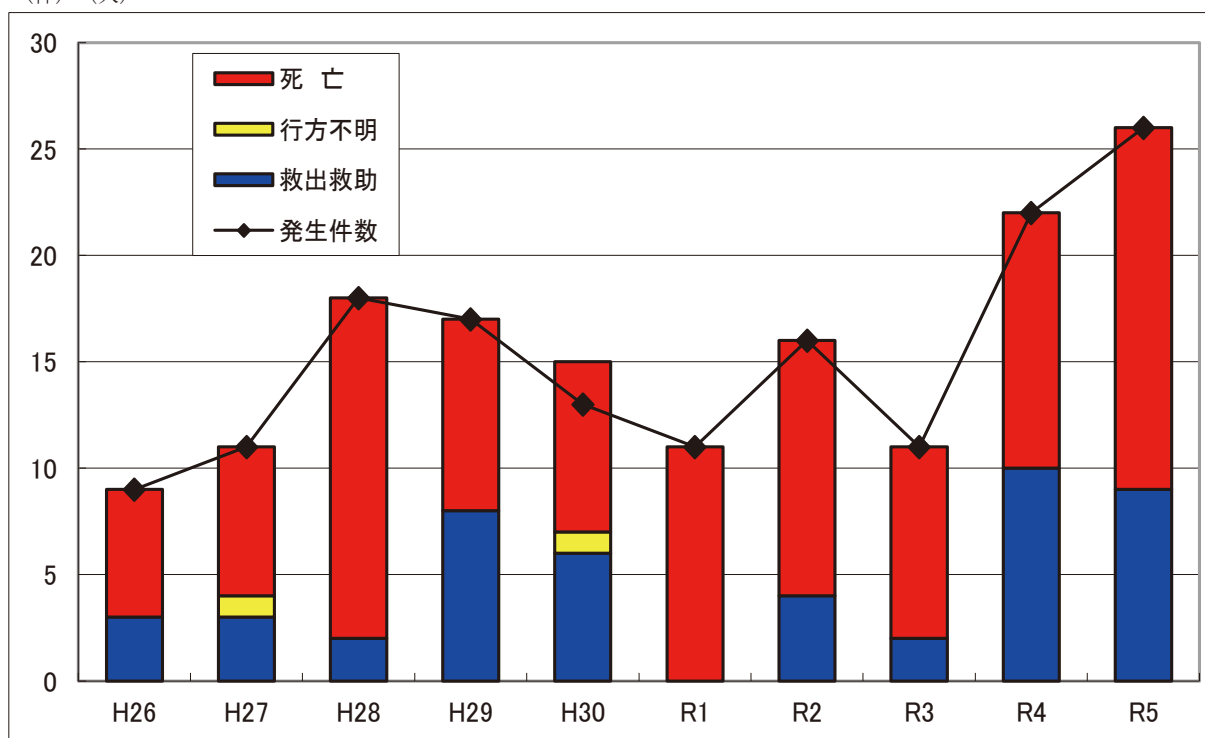
## 10 高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況

- 高齢者（65歳以上）の事故の発生件数は26件（前年比+4件）、事故者は26人（前年比+4人）で、発生件数、事故者、死者数ともに過去10年間で最多であった。
- 事故者の内訳は、死亡17人（前年比+5人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助9人（前年比-1人）であった。
- 事故態様については、26件中、10件が作業中、10件が魚釣り・魚取り中の事故であった。

[過去10年間における高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況]

区 分 年 別	発生件数 (件)	事 故 者 (人)			
		死 亡	行方不明	救 助	
平成26年	9	9	6		3
平成27年	11	11	7	1	3
平成28年	18	18	16		2
平成29年	17	17	9		8
平成30年	13	15	8	1	6
令和元年	11	11	11		
令和2年	16	16	12		4
令和3年	11	11	9		2
令和4年	22	22	12		10
令和5年	26	26	17		9

(件) (人)



## 11 居住地別事故者

居住地別の事故者は、県内居住者が44人、県外居住者のうち愛知県居住者が18人で、県内居住者は前年比+16人、愛知県居住者は前年比-10人であった。

## 第2 水難救助活動の状況

### 1 出動状況

- 水難救助活動に、警察官が延べ494人、消防署（団）員が延べ608人出動した。
- 県警及び県防災のヘリコプターが3件、警察及び消防の舟艇が4件の事故に出動した。

区分 年 別	発生件数 (件)	出動人数 (人)		ヘリ出動状況		舟艇出動状況	
		警察官	消 防	件数	回数	件数	回数
令和5年	57	494	608	3	3	4	4
令和4年	50	507	640	8	13	11	12
増 減	+7	-13	-32	-5	-10	-7	-8

※出動人数は、延べ人数

### 2 水難救助訓練実施状況

県内には、長良川、木曾川及び揖斐川の三大河川をはじめ、ため池や農業用水などが数多く点在している。

各警察署では、水難事故に対して迅速的確な救助活動を行うため、独自又は機動隊、警察航空隊のほか消防、船舶関係組織と合同で水難救助訓練を実施した。



航空隊との合同水難救助訓練



鵜飼船との合同水難救助訓練



機動隊潜水訓練



舟艇による搜索訓練

### 3 救助事例

救助日	場所	状況
8月31日(木)	郡上市長良川	河川内で鮎釣り中、足を滑らせて転倒したため流されて、たどり着いた中州で動けなくなった男性を発見し、救助した。
9月2日(土)	郡上市長良川	河川内で鮎釣り中、足を滑らせて転倒し、岸壁に取りつくも、自力では戻れなくなった男性を発見し、救助した。
9月15日(金)	海津市用水路	転落した高齢男性を発見し、用水路から引き上げるとともに、交代で心臓マッサージ等を施しながら、救急車を要請して人命救助を行った。
9月24日(日)	郡上市用水路	用水路に転落して自力で上がれなくなり、救助を求める高齢女性を発見し、協力して用水路から引き上げて救助した。

郡上署長から感謝状を贈呈（8月31日救助）



郡上署長から感謝状を贈呈（9月2日救助）



海津署長から感謝状を贈呈（9月15日救助）



郡上署長から感謝状を贈呈（9月24日救助）





## 4 小型船舶操縦士の養成

水難事故の発生時において、舟艇を活用した救助活動を迅速的確に実施するため、小型船舶が配備されている警察署や機動隊の警察官を対象に、「二級小型船舶操縦士免許講習」を受講させている。



舟艇操縦訓練

## 第3 その他

### 1 水上バイク等の事故防止対策

○ レジャーの多様化やアウトドアスポーツの普及に伴い、水上バイクなどが遊泳者や釣り人などの第三者を巻き込むレジャー事故の発生が懸念されたことから、河川関係機関と連携し、広報啓発用看板の設置や河川パトロールなどの活動を推進した。



水上バイク利用者に対する広報  
(長良川)

○ 水上バイク等による事故の発生・事故者ともに0件(いずれも前年比-2件)であった。

### 2 広報活動

各警察署では、春から夏にかけて、河川関係機関と連携し、河川などの危険箇所に対する安全点検やパトロールを行い、釣り人、遊泳者、水上バイク利用者などに対する事故防止広報や安全指導を行った。

また、交番・駐在所が発行するミニ広報紙や、テレビ、ラジオなどのメディアを利用した広報啓発活動を展開した。

○ 関警察署では、5月、7月の行楽日に長良川美濃橋付近において、美濃消防署員等とともに、外国人向けの多言語広報ボードも活用しながら、バーベキュー客に対し、ライフジャケット着用等の河川安全利用を呼びかけた。



消防署員との合同広報 (長良川)

○ 郡上警察署では、6月の鮎釣り解禁に合わせ、郡上漁業組合関係者、郡上土木事務所、郡上市役所と合同で「水難事故防止活動開始式」を行い、水難事故防止に向けた決意を表明した。



水難事故防止活動開始式 (郡上警察署)

- 加茂警察署では、6月の鮎釣り解禁に合わせ、白川において、鮎釣り客に対し、例年の事故発生状況やライフジャケットの着用広報啓発活動を行った。



鮎釣り客に対する広報（白川）

- 岐阜中警察署では、事故が多発する夏休み前に、市内の小学校において、校内放送を通じて、河川での注意事項に関する講話を実施した。



小学校での水難講話（岐阜市内）

- 郡上警察署では、7月のレジャーシーズン中に東海北陸道のひるがのSAにおいて、海上保安庁、中部運輸局海上安全環境部船員労働環境・海技資格課、岐阜県土木整備部河川課、マリンスポーツ財団と合同で水難事故防止の広報啓発活動を行った。



海上保安庁等との広報（ひるがのSA）

- 各務原警察署では、7月に川島町の河川環境楽園において、愛知県警、国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所、岐阜県土木整備部河川課、同危機管理部防災課と合同でライフジャケットの着用等の河川安全利用の広報啓発活動を行った。



関係団体との合同安全広報（川島町）

- 中津川警察署では、8月の付知川沿いのキャンプ場において、キャンプ客に対し、ライフジャケット着用や河川の横断遊泳の危険性を呼びかける広報啓発活動を行った。



キャンプ客に対する広報（付知川）



RAI(ライ)

REN(レン)



岐阜県警察ホームページ

令和6年3月発行

発行 岐阜県警察本部地域部地域課